

2013 リュートの会定期演奏会

◎ 11月4日 (月・振替休日) ◎ 午後2時 開演 ◎ 聖グレゴリオの家 聖堂

1. 宮関 こそえ (ルネサンスリュート)

「16世紀イタリアのリュート曲集より」

…………… 作者不詳

2. 田中 若奈 (歌) 田名網 真美奈 (歌)

田名網 双葉 (歌) 朝倉 靖雄 (リュート)

Recercare (リュートソロ) …………… F. スピナチーノ

Aquella boz de Crist tan sonora …………… 作者不詳

Con que la Lavare …………… 作者不詳

Aqui me declaro …………… G. デ・モラータ

3. 五十嵐 富美代 (19世紀ギター)

ラルゲット …………… F. カルリ

ラグリマ …………… F. タレガ

4. 西野 辰子 (バロックリュート)

アンジェリーク (サラバンド) へ長調

…………… デュフォー

ガヴォットニ短調] / ジーグニ短調

…………… S. L. ヴァイス

5. 北村 光生 (バロックリュート)

プレリュード (ニ長調) …………… S. L. ヴァイス

パッサカリア (ニ長調) …………… S. L. ヴァイス

6. 古屋 香里 (歌) 五十嵐 正明 (19世紀ギター)

Op. 39-5 Ch'io senta amor per femmine

—私が女に愛を感じるか—

Op. 89-1 Abschied —第1曲 別れ—

Op. 56-27 Andantino (ギターソロ)

Op. 89-3 Abschied —第3曲 別れ—

Op. 39-1 Par che di giubilo —幸福のあまり—

…………… M. ジュリアーニ

休憩

7. 青山 比呂乃 (ソプラノ) 矢澤 勝之 (リュート)

I saw my lady weep …………… J. ダウランド

Puis que l'adorable Angélique …… F. リシャール

Que douce est l'influence …………… A. ボエセ

Si jamais mon ame blessée …………… P. ゲドロン

Fine knacks for ladies …………… J. ダウランド

今年は、ダウランド生誕 450 年ですが、同時代のフランスでは、エール・ド・クールと呼ばれる宮廷歌曲がもてはやされていました。どちらもリュート付きで一人が歌う歌なのですが、全く違う音楽性を感じていただければ、と思います。(青山比呂乃)

8. 岡沢 道彦 (リュート弾き語り)

語れまことの愛よ …………… J. ダウランド

アニー・ローリー …………… スコットランド民謡

眠りの精 …………… J. ブラームス

9. 伊佐坂 則彦 (バロックリュート)

Sonata C Dur (Ouverture, Bourrée, Aria, Gigue)

…………… S. L. ヴァイス

10. 小松 俊二 (バロックギター)

プレルディオとファンタジア / セスクイアルテラ / アレマンダ / サラバンダ / ジーガ

…………… G. サンス

バロック・ギターの大家 G. サンスは 1674 年にギター教本を出版してます。そこから 5 つのト短調組曲を選びました。先ずサンス・カンパネラと評されるスケールで始まり、テンションの効いた和音のラッシュ、ラスゲアードの嵐のプレルディオとファンタジア。3:2 の比例関係を意味するセスクイアルテラ。穏やかなと指示のあるアレマンダ。フランス風のサラバンダ。最後に憂いを含むイギリスの歌によるジーガ。

11. 太田 研司 (バロックリュート)

Suite C-dur …………… J. G. コンラディ

12. 谷川 千佳子 (ソプラノ) 倉又 義克 (テオルボ)

Sweeter than roses / An evening hymn

…………… H. パーセル

13. 五十嵐 正明 (バロックリュート)

ロジー伯のトンボー …………… S. L. ヴァイス